# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

05-270064

(43)Date of publication of application: 19.10.1993

(51)Int.CI.

B41J 5/30 G06F 3/12

G06F 15/20

(21) Application number: 04-067594

(71)Applicant: TOPPAN PRINTING CO LTD

(22)Date of filing:

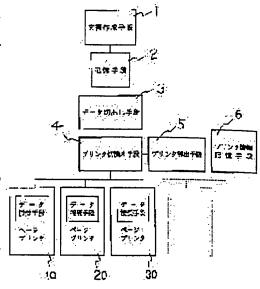
25.03.1992

(72)Inventor: KURAMOCHI EIJIRO

# (54) PRINTING MACHINE

## (57) Abstract:

PURPOSE: To enable printing to be carried out in a short time even with a printing machine using a page printer by a method wherein the page printer optimum for printing is calculated, among a plurality of page printers, and a data of each page is successively sent out to the page printer. CONSTITUTION: In a printing machine wherein a document prepared by a document preparing means 1 is outputted by printing with a plurality of page printers 10, 20, 30,..., a storage means 2 stores the prepared document as a document data. Further, a data cutting-out means 3 reads a required document data from the storage means 2 to be cut out into each page data, and the cut out each page data is successively sent out. Further, a page printer calculating means 5, when the abovementioned one page content of data is received, calculates a printer optimum for printing among a plurality of page printers. Then, a page printer-switching means 4 sends out each one page data cut out from the data cutting-out means 3 to the calculated page printer.



# LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

Date of sending the examiner's decision of rejection

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

Number of appeal against examiner's decision of rejection



01/02/2002

THIS PAGE BLANK (USPTO)

### (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平5-270064

(43)公開日 平成5年(1993)10月19日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>		識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
B41J	5/30	Z	8907-2C		
G 0 6 F	3/12	D			
	15/20	566 A	7343-5L		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 5 頁)

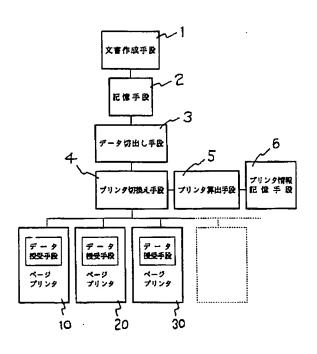
(21)出願番号	特願平4-67594	(71)出願人 000003193 凸版印刷株式会社
(22)出願日	平成4年(1992)3月25日	東京都台東区台東1丁目5番1号
		(72)発明者 倉持 英二郎
		東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印
		刷株式会社内
	·	

# (54) 【発明の名称】 印刷装置

### (57)【要約】

【目的】ページブリンタを用いた場合でも、大量のデータを短時間で印刷できる印刷装置を提供する。

【構成】複数台のページプリンタと、作成された文書データを記憶する記憶手段と、記憶手段から所望の文書データを読み出し1ページ毎のデータに切出して順次送出するデータ切出し手段と、前記1ページ分のデータを受信したときに印刷に最適なプリンタを複数台のプリンタの中から算出するページプリンタ算出手段と、算出されたプリンタへ1ページ毎のデータを送出するページプリンタ切換え手段とを具備することによって、複数台のプリンタへ最適にデータを振り分ける。



THIS PAGE BLANK (USPTO)

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 文書作成手段によって作成した文書を複 数台のページプリンタを用いて印字出力する印刷装置に おいて、

作成された文書を文書データとして記憶する記憶手段 ٤,

前記記憶手段から所望の文書データを読み出し1ページ 毎のデータに切出して、この切出した1ページ毎のデー 夕を順次送出するデータ切出し手段と、

前記1ページ分のデータを受信したときに印刷に最適な 10 的とする。 プリンタを、複数台のページプリンタの中から算出する ページプリンタ算出手段と、

算出されたページプリンタへ前記データ切出し手段から 送出される1ページ毎のデータを送出するページプリン 夕切換え手段と、

を具備することを特徴とする印刷装置。

【請求項2】 前記ページプリンタ算出手段は、データ を送出したページプリンタの情報を記憶するページプリ ンタ情報記憶手段を有することを特徴とする請求項1記 載の印刷装置。

【請求項3】 前記ページプリンタ情報は、各ページプ リンタヘデータを送出した順序情報、各ページブリンタ の印刷速度情報、各ページプリンタへのデータ送出量情 報のうち少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項 2 記載の印刷装置。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【産業上の利用分野】本発明は、文字処理装置、組版シ ステムによって作成された文書を複数台のページプリン 夕を用いて印刷出力する印刷装置に関する。

### [0002]

【従来の技術】従来から、文字処理装置、組版システム などの文書作成手段によって作成された文字、画像等の 文書データの校正、メンテナンスを行なうとき、一旦、 記憶装置にデータペースとして記憶し、これを紙に印刷 出力することが行われている。例えば、大量の文字デー タを必要とする出版物では、大型コンピュータに接続さ れている(大変高価な)連続用紙を用いた高速印刷装置 (例えば、60ペーじ/分、A4用紙)で印刷し、校正 を行なうのが一般的である。近年は、パソコンやワーク ステーションに接続可能で安価なプリンタ、所謂ページ プリンタ(以下、単にプリンタと記すこともある)でも かなり高速で印刷(例えば、12ページ/分、A4用 紙)できるレーザー印刷方式が開発、使用されている。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ページ プリンタが上記のごとく高速で印刷するようになったと いっても、大量のデータを扱う場合は、やはり大型コン ピュータに接続されている印刷装置に頼らざるを得なか った。これは、ページプリンタの印刷速度では印刷装置 50 に比べ数倍遅く、特に出版物のような入稿から印刷、出 版までをできるだけ短期間行なうものには不向きであっ た。また、一台にセットできる用紙の枚数が限られてお り、扱うデータ量に対して少ない枚数しかセットできな

いため、用紙のセットを繰り返さなけらばならず非常に 煩わしいく、結果として時間がかかってしまうなど、実 用上は使いものにならないという問題点があった。そこ で、本発明は複数台のページプリンタを用いて、大量の データを短時間で印刷する印刷装置を提供することを目

#### [0004]

【課題を解決するための手段】本発明は、文書作成手段 によって作成した文書を複数台のページプリンタを用い て印字出力する印刷装置において、作成された文書を文 書データとして記憶する記憶手段と、前記記憶手段から 所望の文書データを読み出し1ページ毎のデータに切出 して、この切出した1ページ毎のデータを順次送出する データ切出し手段と、前記1ページ分のデータを受信し たときに印刷に最適なプリンタを、複数台のページプリ 20 ンタの中から算出するページプリンタ算出手段と、算出 されたページプリンタへ前記データ切出し手段から送出 される1ページ毎のデータを送出するページプリンタ切 換え手段とを具備することを特徴とするものである。

#### [0005]

【作用】本発明によれば、複数台のページプリンタのう ち、印刷するのに最適なページプリンタを算出して、こ のページプリンタに1ページ毎のデータを順次送出する ので、ページプリンタを用いた印刷装置でも短時間で印 刷することができる。

#### *30* [0006]

【実施例】以下、図面を参照して本発明を詳細に説明す る。図1は、本発明の一実施例の校正を示すプロック図 である。この図において、1は文書作成手段、2は記憶 手段、3はデータ切出し手段、4はページプリンタ切換 え手段、5はページプリンタ算出手段、10、20、3 0、…はページプリンタである。

【0007】文書作成手段1は、組版装置、文字処理装 置等の文書を作成する装置である。これらには、CRT 等の表示装置、キーボード、マウス等が接続され対話的 に文書を作成することができる。

【0008】配憶手段2は、ハードディスク、FD等の 記憶装置であり、文書作成手段1によって作成された文 書をデータとして記憶するものであり、前記文書作成手 段1にオンラインまたはオフラインにて接続されてい る。

【0009】データ切出し手段3は、記憶手段2、ペー ジブリンタ切換え手段4に接続されており、まず、前記 記憶手段2から印刷すべき所望の文書データを読み出 し、読み出した文書データを印刷に使用するページプリ ンタの1ページ分のデータ毎に切出す。これは、前記記

憶手段に記憶された文書データが、使用するプリンタの 1行内の文字数、1ページ内の行数とはは無関係に作成 されたものであるため、使用するプリンタの1ページ分 に相当するデータ毎に分割、切出すことによって、プリ ンタにセットされた用紙(例えば、A4又はA3)の所 定の位置に印刷できるのである。そして、切り出した1 ページ毎のデータを順次ページプリンタ切換え手段4に 送出するものである。

【0010】ページプリンタ切換え手段4は、データ切出し手段3、ページプリンタ算出手段5、ページプリン 10 夕10、20、30、・・に接続され、前記データ切出し手段3から順次送出されてくる1ページ毎のデータを受信する毎にページプリンタ算出手段5へ、このデータを送出するのに最適なプリンタを問い合わせ、ページプリンタ算出手段5よって算出される最適なプリンタへ切り換えて頂次データを送出する。

【0011】ページプリンタ算出手段5は、ページプリ ンタ切換え手段4に接続され、このページプリンタ切換 え手段4から問い合わせを受けたときに、印刷するのに 最適なプリンタを接続された複数台のページプリンタ1 20 0、20、30、 $\cdots$ の中から算出するものである。すな わち、各プリンタの印刷速度が等しいときは、問い合わ せを受けたときに、複数のプリンタのいずれか、例えば プリンタ10のみが稼働していない状態のときは、この 稼働していないプリンタ10を算出する。また、稼働し ていないプリンタが2台以上ある場合は、予め決められ た優先順位に従って稼働していないプリンタのうち1台 を算出する。さらに、接続されたプリンタが全て稼働中 のときは、最も速く印刷の終了するプリンタを算出す る。一方、各プリンタの印刷速度が異なるときは、稼働 していないプリンタも含め最も速く印刷の終了するプリ ンタが算出される。そして、いずれの場合も、算出され たプリンタ情報をページプリンタ切換え手段4へ送出す る。

【0012】ここで、ページプリンタ算出手段5は、プリンタ情報記憶手段6を備えていることが好ましい。このプリンタ情報記憶手段6は、ページプリンタ算出手段5が印刷するのに最適なプリンタを算出する毎に算出されたページプリンタの情報を順次記憶するものである。このページプリンタ情報は、各ページプリンタの印刷速度情報、各ページプリンタへのデータ送出屋情報のうち少なくとも1つを含むものとする。

【0013】各プリンタへデータを送出した頃序情報は、1ページ毎のデータを各プリンタへ送出した頃序を示す情報である。例えば、プリンタの印刷速度が全て等しく、かつ全てのプリンタが稼働中のとき、最適なプリンタを算出するのに用いられる。すなわち、ページプリンタ算出手段5は、最適なプリンタを算出する毎に、算出したプリンタの識別記号(一般には、プリンタ番号)

をプリンタ情報記憶手段6へ送出し、送出頃に識別記号を記憶(スタック)しておき、データ切出し手段3から1ページ分のデータを受信したときに、プリンタが全て稼働中のときは、プリンタ情報記憶手段6内のスタックを最新のスタックから頃に検索し、最新のものが再度検索されたら、その一つ後にスタックされた識別記号のプリンタを最も速く印刷の終了するプリンタとして算出するのである。勿論、このときも算出したプリンタ識別記号はプリンタ情報記憶手段6へ送出され記憶される。

り 【0014】各ページプリンタの印刷速度情報は、各プリンタの印刷速度を示す情報である。例えば、接続されたプリンタの印刷速度が異なるとき、プリンタ情報記憶手段6にスタックされたデータ送出順序とともに最適なプリンタを算出するのに用いられる。例えば、稼働していないプリンタが2台以上のときは最も印刷速度の速いプリンタが算出される。稼働していないプリンタが1台のときは勿論このプリンタが算出される。このときも算出したプリンタ識別記号はプリンタ情報記憶手段6へ送出され記憶される。

7 【0015】各ページブリンタへのデータ送出量情報は、用紙上に文字、記号、図形等として表現されるデータを各ページブリンタに対して1回に送出した量を示す情報である。例えば、接続されたプリンタの印刷速度が異なり、全てのプリンタが稼働中のとき、前記スタックされたデータ送出腫情報から最も速く印刷の終了するプリンタを算出する。具体的には、1ページに印刷可能な最大データ量を1000パイト、プリンタの印刷速度を10ページ/分、即ち、6秒/ページ、データ送出量を500パイトとすると、(500/1000)×6=3となり、3秒で印刷が終了することになる。

【0016】ページプリンタ10、20、30、・は、いずれもページプリンタ切換え手段4に接続されており、このページプリンタ切換え手段4から送出される1ページ分のデータを順次印刷するものである。各プリンタには前記ページプリンタ切換え手段4からのデータを受け取る一般にインターフェイスと呼ばれるデータ授受手段を備えている。

【0017】次に、同実施例の動作を説明する(図2に 40 示すフローチャートを参照)。文督作成手段1によって 作成された文音を、文音データとして記憶手段2に記憶 する。まず、この記憶れた文書データの中から所望のデータを読出し、記憶された所望の文替データが無くなる まで、以下の動作を繰り返す。すなわち、読出されたデータをデータ切出し手段3によって1ページ分のデータ に切出しながら、順次ブリンタ切換え手段4に送出する。ブリンタ切換え手段4は、データを受信する毎に接続された複数台のページブリンタ10、20、30、・・ のうちどのブリンタにデータを送出するかを、ページブ 50 リンタ算出手段5に問い合わせる。 5

【0018】問い合わせを受けたページプリンタ算出手段5は、プリンタの稼働状態とともにプリンタ情報記憶手段6に記憶されたプリンタへデータを送出した順序情報、プリンタの印刷速度情報、プリンタへのデータ送出 型情報を適宜参照しながら、最適なプリンタ、例えばプリンタ10を算出し、このプリンタ情報をプリンタ切換え手段4に応答する。同時に、ページプリンタ情報記憶手段6へもこのプリンタの情報を送出する。応答を受けたプリンタ切換え手段4は、前記識別記号に対応するブリンタ10へ1ページ分のデータを送出する。そして、プリンタ10にで送出された1ページ分のデータを印刷する。

#### [0019]

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、 作成した文書を枚葉紙のページプリンタを複数台用いて 印刷するとき、記憶された文書データの中から所望の文 書データを読み出し、1ページ毎のデータに切出して順 次送出し、この1ページ分のデータを受信したときに印 刷するのに最適なプリンタを、複数台のプリンタの中か ら順次算出して、このページプリンタに1ページ分のデータを送出して印刷するので、大量の文書データを印刷する場合でも短時間で印刷することができる。また、大量のデータを印刷するのに十分な量の用紙をセットすることができるため用紙のセットを繰り返す必要がなく、実用に耐えうる時間で印刷することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の構成を示すプロック図である。

10 【図2】同実施例の作用をしめすフローチャート図である。

#### 【符号の説明】

- 1.文書作成手段
- 2 ·· 配億手段
- 3・データ切出し手段
- 4・プリンタ切換え手段
- 5・プリンタ算出手段
- 6・プリンタ情報記憶手段
- 10、20、30・ページプリンタ

【図1】

